



# 野良猫の世話をされている方へ



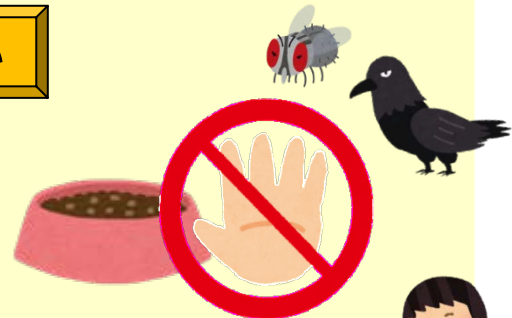
飼い主から捨てられたり、不妊去勢手術をせずに無秩序に生まれた子猫など、不適切な飼育が原因で屋外にいる猫やその子孫が、今福岡市内で生息している野良猫です。この猫たちを「かわいそう」と思って世話をされていることと思います。

しかし、**えさやりのみ**を行うのは不幸な猫を増やすことにつながり、「**近隣トラブル**」や「**苦情**」に発展します。

**野良猫たちをワルモノにしない為にできることがあります。**

## ① エサを置いたままに（置きエサ）しない

置きエサにハエ・ゴキブリ等やハト・カラスなどが集まる。また、世話をしている野良猫以外にも猫が集まることでトラブル・苦情の原因になるため**置きエサは厳禁**です。



## ② 糞の片づけをする

野良猫は様々な場所で排泄します。他人の敷地内での排泄はトラブル・苦情の原因です。猫のトイレを置いて、世話している猫が**糞をしたら必ず片づけ**ましょう（糞は可燃ごみとして捨ててください）。



## ③ 不妊去勢手術をおこなう

猫は年に2～3回出産し、1回で平均5頭の子猫を産みます。1頭だった猫が1年後には20頭になることもあるのです。不幸な次世代を作る原因になるので**必ず、不妊去勢手術を**しましょう。



## 野良猫の世話をされる方は その猫に対する一定の「責任」が伴います



上記の処理を一切行わずエサやりを続けた結果、行政機関にたくさんの苦情が寄せられています。長期間周囲の方々に迷惑を及ぼし、度重なる行政からの要請にも従わなかった結果、現実には、給餌者が責任を問われ**損害賠償請求**や**給餌の差し止め命令**が出たような**民事裁判**の事例があります。

